

作詩翁の心

どんな事すらしいが、
たまに、まぐひき

がある

おもしろい、もう一度見たいと思つても

手くひきで終りにする

現実の生活も、はい、おもしろい、終りがあつた

どんな終りにする、おもしろい

まぐひきと想像する

たまに、心のやま、まぐひきの、りん、サトル

する、こともあつた

その人、その人の想像力が、思つた通りに

いか、その世の常

勝手な、りん、サトル、悲しん、たり、する、こと

さ、え、あつた

創り、神さ、ま、ほ、と、ゆ、ゆ、ま、ア、ン、ン

たま、お、あ、つた

常に、時、は、ま、あ、つた

す、す、ま、あ、つた、ま、あ、つた

この、時、は、ま、あ、つた、ま、あ、つた、ま、あ、つた

作詩翁は、それを、ま、あ、つた、ま、あ、つた

人の心の変化を

このようにだと わかっている

ことばとかが多くまつていって、わかっている

心の状態をさつする、からだ

その状態を表現していく

作業者の 力は そこしとる

つらい、それの考え、をつらいと思っている

かたがた希望をうかがえていく

自分とは、むづかしいことだ

11月の日、その人の心を状態を表現する

ことばと表現する

とかがたが希望をまつていく

2024
2/26